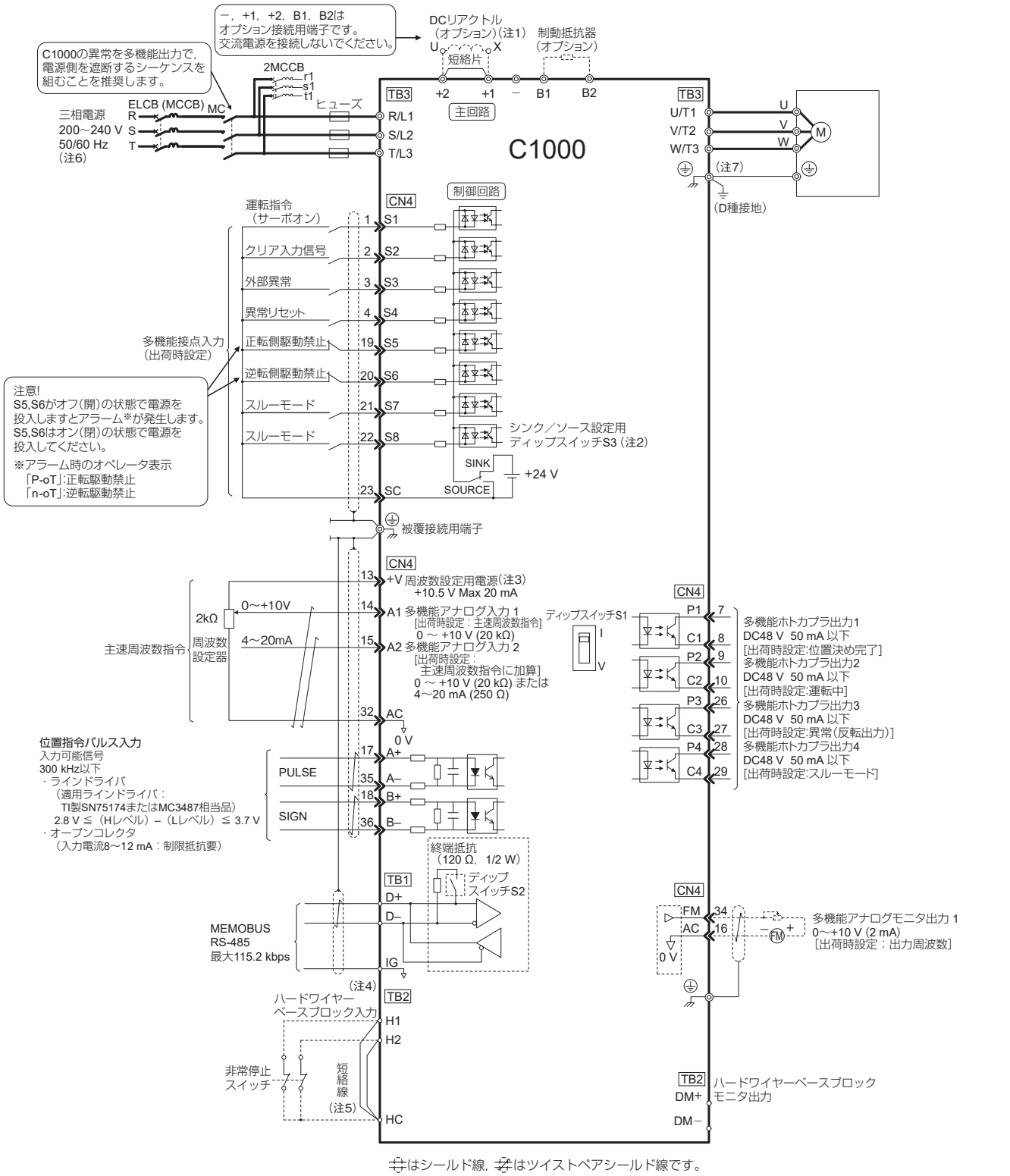
標準接続図



⏚はシールド線，⏚はツイストペアシールド線です。

注1. DC リアクトル（オプション）を取付ける場合は、必ず端子+1、+2 間の短絡片を外してください。
注2. シーケンス入力信号（S1～S8）が無電圧接点またはNPN トランジスタによるシーケンス接続の場合の接続を示します。出荷時設定はシンクモード（0V コモン）です。
C1000は,シンクモードを選択した場合、内部電源（+24 V）しか使用できません。また,ソースモードは外部電源しか使用できません。
注3. 制御回路端子の+V電圧の出力電流容量は,最大 20mAです。制御回路端子+V、AC間を短絡させないでください。誤動作や故障の要因となります。
注4. ハードワイヤーベースブロック入力はソースモードのみです。端子H1-HC、H2-HC 間には、接点またはPNP トランジスタを使用してください。
注5. ハードワイヤーベースブロックを使用する場合、必ずH1-HC、H2-HC 間の短絡線を外してください。
注6. IPMギアモータのモータ部の電源電圧定格は200～230Vです。240Vでのご使用はお問い合わせください。
注7. ギアモータの接地端子とC1000インバータの接地端子を直接接続し、インバータ側で接地を行ってください。